



国土を整え、全力で備える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

お知らせ

記者発表資料 | 平成30年9月21日

同時発表先： 合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、
岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、
山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

建設キャリアアップシステム説明会を開催します ～建設業の担い手確保・育成に向けた新しい取り組みが始まります～

中国地方整備局は、以下のとおり、「建設キャリアアップシステム説明会」を開催します。

建設キャリアアップシステム（以下「本システム」といいます。）は、建設技能労働者（技能者）の保有資格や現場経験（就労実績）などを、ICカード（キャリアアップカード）を通じシステムに蓄積するとともに、蓄積されたデータを基にした能力評価などで活用を図るもので、社会資本整備や地域の守り手である技能者1人ひとりが技能と経験に応じた処遇を受けられる環境整備の一環として導入されるものです。

この説明会は、9月4日の開催を予定していましたが、台風21号の接近により延期していました。この度、改めて開催の日時等を決定しましたので、お知らせするものです。

- 日 時：**平成30年10月19日（金）** 15時00分～17時00分
- 会 場：広島県立美術館 地下1階 講堂（広島市中区上幟町2-22）
※会場も変更となっております。
- 主 な 内 容：建設キャリアアップシステムの概要、メリット、利用方法について
- 取材について：報道関係者で傍聴を希望される方は、当日会場受付までお越し下さい。
- そ の 他：建設企業向けには、中国地方整備局ホームページ（<http://www.cgr.mlit.go.jp/>）にて、本日から参加募集（定員は約200名。定員になり次第、受付終了。）を始めました。

<問い合わせ先>

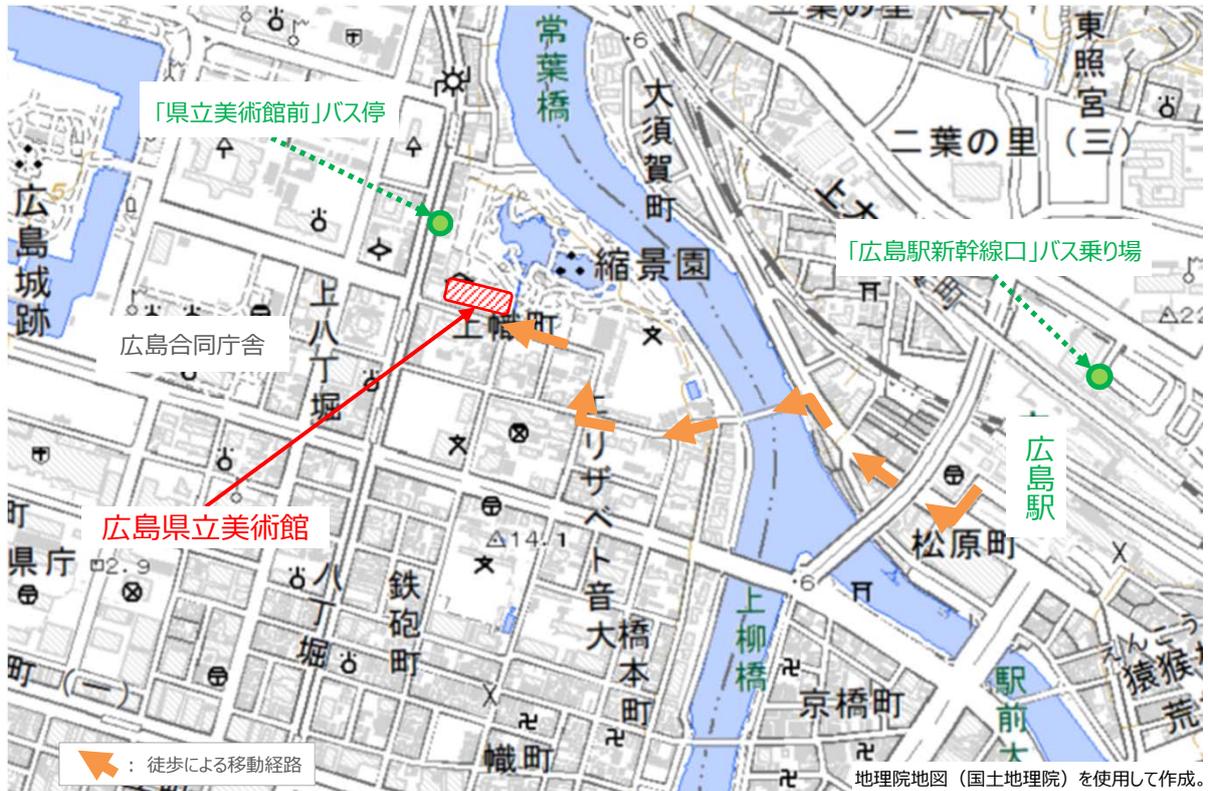
中国地方整備局 082-221-9231（代表）：（平日・昼間）

| | | | |
|----------|-------------|--------|----------|
| 【担 当】建政部 | 計画・建設産業課長 | 佐々木 高志 | （内線6121） |
| 建政部 | 計画・建設産業課長補佐 | 森本 眞宏 | （内線6142） |

| | | | |
|----------|----------|-------|----------|
| 【広報担当窓口】 | 広報広聴対策官 | 岩下 恭久 | （内線2117） |
| | 企画部環境調整官 | 井上 和久 | （内線3114） |

会場案内図〔建設キャリアアップ説明会〕

会 場 : 広島市中区上幟町 2 - 2 2
(広島県立美術館 地下1階 講堂)



【交通案内】

《 徒 歩 》

広島駅南口から約1 km (所要15~20分)。

《 バ ス 》

広島駅新幹線口バス乗り場 (2番) から
「ひろしま めいぐるーぶ(オレンジルート又はレモンルート)」
のバスに乗車。
⇒ “県立美術館前バス停”で下車。

※ “めいぐるーぶ”の3ルートのうち、広島駅新幹線口バス乗り場から
県立美術館前バス停迄の移動所要時間が短い“オレンジルート”
又は“レモンルート”のご利用をお勧めします。



**公共交通機関の利用に
ご協力をお願いします。**

- 「建設キャリアアップシステム」は、技能者の資格、社会保険加入状況、現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積する仕組み
- システムの活用により技能者が能力や経験に応じた処遇を受けられる環境を整備し、将来にわたって建設業の担い手を確保
- システムの構築に向け官民（参加団体：日建連、全建、建専連、全建総連 等）で検討を進め、平成31年1月以降システムを利用できる現場に限った「限定運用」を開始し、限定運用で蓄積した知見を踏まえ、平成31年度より「本運用」を開始予定
- 運用開始初年度で100万人の技能者の登録、5年で全ての技能者（330万人）の登録を目標

<建設キャリアアップシステムの概要>



技能者の処遇改善

○経験や技能に応じた処遇の実現

- ・システムに蓄積される就業履歴や保有資格を活用し、技能者をレベル分けする能力評価基準を検討（レベルに応じてキャリアアップカードを色分け）
- ・技能者の能力評価と連動した専門工事企業の施工能力等の見える化も進め、良い職人を育て、雇用する専門工事企業が選ばれる環境を整備



現場管理の効率化

○社会保険加入状況等の確認の効率化

- ・現場に入場する技能者ひとりひとりについて、社会保険の加入状況等の確認が効率化

| 事業者名 | 技能者名 | 就業日数 | 社会保険加入 |
|-------|------|------|--------|
| 〇〇建設 | 〇〇男 | 11 | ○ |
| 〇〇建設 | 建設太郎 | 10 | ○ |
| ××工務所 | □□子 | 20 | ○ |
| ××工務所 | □□次郎 | 20 | ○ |

○書類作成の簡素化・合理化

- ・施工体制台帳や作業員名簿の作成の手間やミスを削減

作業員名簿（イメージ）

| 氏名 | 職種 | 生年月日 | 現住所 |
|------|-----|--------|--------|
| 〇〇男 | 型枠工 | 〇年〇月〇日 | 〇〇県〇〇市 |
| 建設太郎 | 型枠工 | △年△月△日 | △△県△△市 |
| □□子 | 鉄筋工 | □年□月□日 | □□県□□市 |
| □□次郎 | 足場工 | ■年■月■日 | ■■県■市 |

※赤枠部分にシステムに蓄積された情報が反映される

○建退共関係事務の効率化

- ・技能者に証紙を交付する際の事務作業が軽減（現在は手作業で必要書面を作成している）

※建退共において、システムに蓄積された就業履歴を用いて、証紙請求書類（共通）を作成するソフトを開発し、提供予定

※また、建退共において、証紙に替えて電子的に就労実績を把握する方式の導入について検討が進められている

